

放課後等デイサービス自己評価表（令和6年度）

ホースセラピーたてがみ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制設備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置は基準人数より2～3名多く配置されている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか		○		スロープは設置されている。 駐車場の足場が不安定のため整備を進めている。
業務改善	④	業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定の振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意思等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたものを参考にすることはあるが全員に対してではない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全ての職員が意見を出し合い、様々な活動を取り入れている。 子どもの思いつきを出来るだけ叶えられるよう柔軟に対応している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇の際は長時間利用に飽きないようにイベントを行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団生活を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別活動（ホースセラピー）のみを利用している方もいるので全員に対してではない。 慣れてきたらダブルセッション等を通して他児と交流する機会を提供できると良い。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者同伴の支援も多いため、計画見直しの相談が出来る機会が多いと思います。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			

関係機関や保護者との連携	②①	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療的ケアが必要な利用者はいませんが、必要に応じて対処したい。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		直接のやり取りはありませんが、相談支援専門員の方からの情報共有をいただいております。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		施設規模の交流はありませんが休日のイベント等では利用者の兄弟姉妹も参加する場合があります。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対して相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同伴のイベントを定期的で開催したり、ホースセラピーのダブルセッションなど保護者同士の交流が出来る機会を設けている
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月「たてがみ新聞」という活動の様子を掲載した紙媒体を発行しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			イベントに地域の方を招待して交流してもらったり、地域の方にイベントの案を聞き、場合によっては講師役になっていただくことがあります。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		避難訓練の回数が少ないので今後数を増やしたい。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホースセラピーたてがみ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 1日 ～ 2025年 3月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 1月 1日 ～ 2025年 3月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	屋外活動のスペース	屋外活動のスペースはかなり広く、自由に駆け回ったり球技をしたり出来ます。 活動に支障がないよう草刈り等のメンテナンスをしています。 室内では扱うのが難しいサイズのトランポリンを設置するなどして遊びの幅を増やしています。	夏場は日差しが強いため療育室に戻らずとも避暑が出来るスペースを作りたいと考えています。
2	ニーズに合ったサービス提供	「預かり」と「ホースセラピー」を基本の2軸とし、ニーズに合ったサービスを提供しています。 ホースセラピーは通常1組で行われますが、2組で同時にセラピーを行うダブルセッションで他児と関わる機会を作ったりしています。	現状、ホースセラピーの枠が取り合いになっており複数回のセラピーを希望される方のご期待に応えられていないこともあります。 馬を扱うための専門知識を備えた職員の配置がもう少し必要なので
3	支援プログラムが固定化しないための取組	全ての職員が意見を出して様々な活動を取り入れています。 また、子どもがふと思いついたことや、やってみたいと口にしたことなどは出来るだけ拾い、柔軟に対応しています。	アイデアが枯れないように新しい職員を加えたり、他事業所のアイデアを取り入れるなどしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スロープ・手すりなどのバリアフリー化の配慮	地面が整備されていない箇所がある。 馬が歩くためにコンクリートやアスファルトなどで整備出来ない箇所があり、そういう場所は車イス等には優しくない場所になってしまっていると思う。	現状、最も足場が悪いのが駐車場から療育室に至るまでの導線であるため、なんらかの整備をしたい。
2	児童館との交流など	事業所自体が山奥にあり近所にそのような施設がない。 こちらから出向くにも利用者の大半はたてがみの広いスペースでのびのび過ごせることにメリットを感じていただいているので、わざわざ車で移動してまで交流するのは望まれていない。	家族も参加出来るイベントを定期的に行っており、そこで他児家族の兄弟姉妹と関わることもある。 そういう機会はもっと増やしていきたい。
3			